

2008年6月1日

各 位

オリックス自動車株式会社

## 映像活用型安全運転推進サービス『ALIVE-eye』を開始 ～見えない運転状況を‘見える化’、映像・運転データに基づく安全運転プログラムを確立～

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：三谷 英司）は、実際の運転映像を活用し‘見える化’を実現した安全運転推進サービス『ALIVE-eye』を開発し、法人のお客様に向けて6月1日より提供いたします。

オリックス自動車では、業界に先がけて、1991年に「リスクマネジメント室」を設置し、お客様の事故削減課題やコンプライアンスへの対応、保険料に関するコスト管理など自動車の使用に関する総合的なリスクマネジメントサービスを提供してまいりました。また、交通安全啓蒙ツールの提供や講習会を実施し、2001年にはドライブレコーダーを活用した安全運転診断サービス『ALIVE』を開始、客観的な運転データに基づく事故削減コンサルティングサービスに注力しています。

このたび開発した『ALIVE-eye』は、車両に設置した「映像・運行記録機器」から取得した映像・運転データを元に、事故に繋がる要因を解析し、「未然防止」と「再発防止」の観点から安全運転を推進するサービスです。労務管理の中でも難易度の高い運転状況管理に対し、実際の映像・運転データを分析することにより、事故削減計画の策定や安全運転のための研修などを実施し、継続的な安全運転管理体制の構築をサポートします。

お客様は『ALIVE-eye』の導入により、運転者ごとの客観的な運転状況を把握でき、同時に事故発生リスクの高い運転者向けの研修や管理者研修などを組み込んだ「事故削減プログラム」に基づき、計画・実施・診断・検証を効率よく実行できます。

オリックス自動車では、本サービスの開始とともに、これまでの東京に加え大阪にも「リスクマネジメント室」を設置し、リスクマネジメントサービスの専門性の向上と社内推進体制の強化を図り、体系立てたトータルサポート体制が完成したものと考えています。

今後は、お客様に本サービスを積極的にご提供することにより、事故削減ニーズに応えてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス自動車株式会社 社長室 緒方・矢崎

TEL：03-6436-6030

## 【ご参考】

### ◆『ALIVE-eye』の診断イメージ

お客様の映像・運転データから実態を把握し、診断解析による課題をフィードバックします

#### ①事故に繋がる運転の検証

- ・モラル編:コンプライアンス上の問題は?
- ・スキル編:危険予測上の問題は?
- ・セルフコントロール編:業務、心理的な要因の影響は?

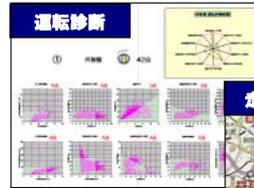


#### ②環境配慮や安全運転に関する解析・診断

アイドリング、最高速度、急発進・急停車

#### ③運転診断

オリックス自動車独自の解析手法により、運転の主要部分であるブレーキ、交差点走行など10項目診断を実施



資料は、報告書と簡易映像をデータにてご提供

### ◆事故削減コンサルティングプログラム(例)

